

製品名: BAP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87019**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:80 kDa; Observed MW:95 kDa

抗原情報

遺伝子名	BAP1
別名	UCHL2; hucep-6; HUCEP-13
遺伝子ID	8314
SwissProt ID	Q92560
免疫原	ヒト BAP1 の組み換えタンパク質

背景

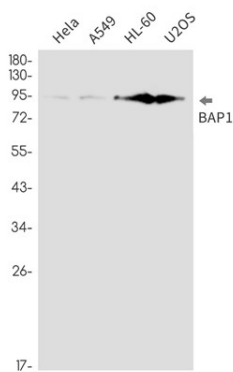
この遺伝子は、タンパク質からユビキチンを除去する脱ユビキチン化酵素のユビキチン C 末端加水分解酵素サブファミリーに属しま

す。コードされている酵素は、乳がん感受性タンパク質1型 (BRCA1) のRINGフィンガードメインを介してBRCA1に結合し、腫瘍抑制因子として作用します。さらに、この酵素は転写調節、細胞周期および増殖調節、DNA損傷への応答、そしてクロマチン動態にも関与している可能性があります。この遺伝子の生殖細胞系列変異は、悪性中皮腫、ブドウ膜黒色腫、皮膚黒色腫などのがんのリスク増加を伴う腫瘍素因症候群 (TPDS) と関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2013年5月]

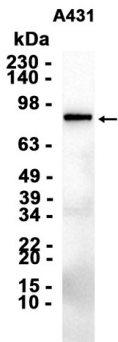
研究分野

-

画像データ



BAP1 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa、A549、HL-60、U2OS 細胞溶解物中の BAP1 のウェスタンプロット検出。



AMRe87019 を 1:1000 で使用して A431 細胞抽出物をウェスタンプロット分析しました。